

重要

志願票記入上の注意

全般にわたる注意

- (1) 自筆で正確に記入してください。虚偽の記入がなされた場合には、合格または入学を取り消すことがあります。
- (2) 文字は楷書、数字は算用数字で、ボールペン（消えるボールペンは不可）または万年筆を用い（黒に限る）、丁寧に記入してください。
- (3) 生年月日等はすべて西暦で記入してください。
- (4) ※印欄以外の欄について記入、または○印で囲んでください。

入試方式

- ・ 志願する方式及び受験型に○印をつけてください。
- ・ 同一日程内の方式では、どのような併願も可能となっていますので、志願する方式すべてに○印をつけてください。

法学未修者と法学既修者を併願した場合の第1志望の入学区分

- ・ 入試方式で、法学未修者（前期・後期A方式、後期B・C方式）と法学既修者（前期・後期D・E・F方式）を併願した場合は、両方の区分で合格した際にいずれの区分で入学を希望するか（第1志望とするか）を選択し、入学区分に○印をつけてください。

試験会場

①前期日程

- ・ 入試方式で、前期D方式、前期F方式を選択した場合は、希望する試験会場を3つの会場（京都・東京・福岡）の中から選択し○印をつけてください。
- ・ 東京・福岡試験場を選択する者で、A方式を併願する場合は、京都会場の実施となりますのでご注意ください。

②後期日程

- ・ 入試方式で、後期日程を選択した場合は、会場は京都試験場のみとなりますので、「京都試験場」に○印をつけてください。

※前期・後期E方式は会場での試験を実施しませんので記入不要です。

<記入例1> 前期A方式のみ志願する場合

入試方式 (同一日程内で志願する方式 全てに○印)	前期日程						
	前期A方式 法学未修者 一般 6120101			前期D方式 法学既修者 6120102	前期E方式 法学既修者 5年一貫型 教育選抜 6120102	前期F方式 法学既修者 開放型選抜 6120102	
	後期日程						
	後期A方式 法学未修者 一般 6120101	後期B方式 法学未修者 社会人 特別選抜 6120101	後期C方式 法学未修者 英語優秀者 特別選抜 6120101	後期D方式 法学既修者 6120102	後期E方式 法学既修者 5年一貫型 教育選抜 6120102	後期F方式 法学既修者 開放型選抜 6120102	
法学未修者と法学既修者を併願 した場合の第1志望の入学区分 (いずれかに○印)	法学未修者 6120101	法学既修者 6120102	※				←記入不要
試験会場 (いずれかに○印)【注】	京都試験場 K	東京試験場 T	福岡試験場 F	※			←京都会場のみ 選択可

<記入例2> 前期A方式、前期D方式を併願し、法学既修者を第1志望とする場合

入試方式 (同一日程内で志願する方式 全てに○印)	前期日程					
	前期A方式 法学未修者 一般 6120101			前期D方式 法学既修者 6120102	前期E方式 法学既修者 5年一貫型 教育選抜 6120102	前期F方式 法学既修者 開放型選抜 6120102
	後期日程					
	後期A方式 法学未修者 一般 6120101	後期B方式 法学未修者 社会人 特別選抜 6120101	後期C方式 法学未修者 英語優秀者 特別選抜 6120101	後期D方式 法学既修者 6120102	後期E方式 法学既修者 5年一貫型 教育選抜 6120102	後期F方式 法学既修者 開放型選抜 6120102
法学未修者と法学既修者を併願 した場合の第一志望の入学区分 (いずれかに○印)	法学未修者 6120101	法学既修者 6120102	※			
試験会場 (いずれかに○印)【注】	京都試験場 K	東京試験場 T	福岡試験場 F	※		

←選択可

<記入例3> 前期E方式のみを志願する場合

入試方式 (同一日程内で志願する方式 全てに○印)	前期日程					
	前期A方式 法学未修者 一般 6120101			前期D方式 法学既修者 6120102	前期E方式 法学既修者 5年一貫型 教育選抜 6120102	前期F方式 法学既修者 開放型選抜 6120102
	後期日程					
	後期A方式 法学未修者 一般 6120101	後期B方式 法学未修者 社会人 特別選抜 6120101	後期C方式 法学未修者 英語優秀者 特別選抜 6120101	後期D方式 法学既修者 6120102	後期E方式 法学既修者 5年一貫型 教育選抜 6120102	後期F方式 法学既修者 開放型選抜 6120102
法学未修者と法学既修者を併願 した場合の第一志望の入学区分 (いずれかに○印)	法学未修者 6120101	法学既修者 6120102	※			
試験会場 (いずれかに○印)【注】	京都試験場 K	東京試験場 T	福岡試験場 F	※		

←記入不要

←記入不要

<記入例4> 前期D方式、前期F方式を併願する場合

入試方式 (同一日程内で志願する方式 全てに○印)	前期日程					
	前期A方式 法学未修者 一般 6120101			前期D方式 法学既修者 6120102	前期E方式 法学既修者 5年一貫型 教育選抜 6120102	前期F方式 法学既修者 開放型選抜 6120102
	後期日程					
	後期A方式 法学未修者 一般 6120101	後期B方式 法学未修者 社会人 特別選抜 6120101	後期C方式 法学未修者 英語優秀者 特別選抜 6120101	後期D方式 法学既修者 6120102	後期E方式 法学既修者 5年一貫型 教育選抜 6120102	後期F方式 法学既修者 開放型選抜 6120102
法学未修者と法学既修者を併願 した場合の第一志望の入学区分 (いずれかに○印)	法学未修者 6120101	法学既修者 6120102	※			
試験会場 (いずれかに○印)【注】	京都試験場 K	東京試験場 T	福岡試験場 F	※		

←記入不要

←3会場より
選択可

<記入例5> 後期B方式のみ志願する場合

入試方式 (同一日程内で志願する方式 全てに○印)	前期日程					
	前期A方式 法学未修者 一般 6120101			前期D方式 法学既修者 6120102	前期E方式 法学既修者 5年一貫型 教育選抜 6120102	前期F方式 法学既修者 開放型選抜 6120102
	後期日程					
	後期A方式 法学未修者 一般 6120101	後期B方式 法学未修者 社会人 特別選抜 6120101	後期C方式 法学未修者 英語優秀者 特別選抜 6120101	後期D方式 法学既修者 6120102	後期E方式 法学既修者 5年一貫型 教育選抜 6120102	後期F方式 法学既修者 開放型選抜 6120102
法学未修者と法学既修者を併願 した場合の第一志望の入学区分 (いずれかに○印)	法学未修者 6120101	法学既修者 6120102	※			
試験会場 (いずれかに○印)【注】	京都試験場 K	東京試験場 T	福岡試験場 F	※		

←記入不要

←京都会場のみ
選択可

<記入例6> 後期A方式、後期D方式を併願し、法学既修者を第1志望とする場合

入試方式 (同一日程内で志願する方式 全てに○印)	前期日程					
	前期A方式 法学未修者 一般 6120101			前期D方式 法学既修者 6120102	前期E方式 法学既修者 5年一貫型 教育選抜 6120102	前期F方式 法学既修者 開放型選抜 6120102
	後期日程					
	後期A方式 法学未修者 一般 6120101	後期B方式 法学未修者 社会人 特別選抜 6120101	後期C方式 法学未修者 英語優秀者 特別選抜 6120101	後期D方式 法学既修者 6120102	後期E方式 法学既修者 5年一貫型 教育選抜 6120102	後期F方式 法学既修者 開放型選抜 6120102
法学未修者と法学既修者を併願 した場合の第一志望の入学区分 (いずれかに○印)	法学未修者 6120101	法学既修者 6120102	※			
試験会場 (いずれかに○印)【注】	京都試験場 K	東京試験場 T	福岡試験場 F	※		

←京都会場のみ
選択可

<記入例7> 後期D方式、後期F方式を併願する場合

入試方式 (同一日程内で志願する方式 全てに○印)	前期日程					
	前期A方式 法学未修者 一般 6120101			前期D方式 法学既修者 6120102	前期E方式 法学既修者 5年一貫型 教育選抜 6120102	前期F方式 法学既修者 開放型選抜 6120102
	後期日程					
	後期A方式 法学未修者 一般 6120101	後期B方式 法学未修者 社会人 特別選抜 6120101	後期C方式 法学未修者 英語優秀者 特別選抜 6120101	後期D方式 法学既修者 6120102	後期E方式 法学既修者 5年一貫型 教育選抜 6120102	後期F方式 法学既修者 開放型選抜 6120102
法学未修者と法学既修者を併願 した場合の第一志望の入学区分 (いずれかに○印)	法学未修者 6120101	法学既修者 6120102	※			
試験会場 (いずれかに○印)【注】	京都試験場 K	東京試験場 T	福岡試験場 F	※		

←記入不要

←京都会場のみ
選択可

出願資格

出願資格となる学歴等を記入してください。

大学名等に改称のあったときは「(現〇〇大学)」と付記してください。

【一般入学試験 出願資格(1)】、【法曹コース特別選抜入学試験 出願資格(1)、(2)】の方

上欄に大学名、学部・学科名、卒業(見込)年月等を記入し、「11大学卒業・大学卒業見込」に○印をつけてください。

複数の大学や学部を卒業(見込)の場合は、最新のを記入してください。

大学院に在学中や修了の場合も大学学部の卒業について記入してください。

【一般入学試験 出願資格(2)~(10)、(11)①②③】の方

下欄の空行欄に必要な事項を記入し、「29その他」に○印をつけ、() 内に出願資格の番号を記入してください。

記入すべき内容がわからない場合は、司法研究科事務室にお問い合わせください。

学生ID：同志社大学および同志社大学院出身者のみ記入してください。

本人現住所

志願票提出後入学するまでの期間に、本学から連絡を受ける場所を明記し、出願後変更が生じた場合は必ず司法研究科事務室に届け出てください。

本人緊急連絡先

本人自宅の電話以外に本学から連絡を受けられる携帯電話・E-mail アドレスを持っている場合は、記入してください。

出願後変更が生じた場合は、必ず司法研究科事務室に届け出てください。

保護者または勤務先

父母氏名・住所または本人の勤務先等の名称・住所を記入してください。(同一世帯者でも構いません。ただし日本国内に限ります。)

本人現住所、本人緊急連絡先に連絡がつかない場合に使用します。勤務先等がなく、本人にしか連絡がつかない場合は、

「保護者等」に○印をつけ、本人氏名・住所を記入してください。